

2012年9月13日  
株式会社シータス&ゼネラルプレス

## AR (拡張現実) サービスの提供開始 ～タイムアウト東京とコラボレーション～

株式会社シータス&ゼネラルプレス(本社：東京都文京区、代表取締役：田口悟)はこの度、登録したトリガー画像を読み込むことによって動画の視聴が可能になるAR(拡張現実)サービスの提供を開始いたしました。今回は、[タイムアウト東京](#)と「HARAJUKU KAWAII!!! FES2012」のコラボレーションイベントにて配布される「原宿でしかできない50のことマップ」上で、「Aurasma」のAR技術を使った「Mue Alive!」(技術サポート：ナレッジワークス株式会社)を活用し、紙面上の特定のトリガー画像をスマートフォンなどで読み込むことによって動画コンテンツの視聴が可能となる、新しいスタイルの広告を提案しています。

また今後も、タイムアウト東京のシティガイドマップ上で同様のAR技術を活用した広告展開を支援させていただきます。

### 【提供の背景】

スマートフォン市場が急速に拡大している中、カメラ付端末やアプリケーションといったものが既に標準となりつつあります。そんな中でこの「Aurasma」の技術を使うことによって、紙媒体の特性である「どこでも・誰にでも・確実に」伝えられる部分を押さえつつ、動画の特性である「音・質感・動き」といったものを融合させることが可能となりました。それにより、限られたスペースでしか表現できなかったものが、スマートフォンやタブレットを通して無限大に表現できるようになります。

### 【AR(拡張現実)のサービス概要】

スマートフォンやタブレットのカメラを介して設定したトリガー画像を読み取ることで、映っている実際の映像の上にデジタル情報をリアルタイムで重ねられる技術です。これにより、新聞・雑誌やカタログ・DMなど、あらゆる媒体上でコンテンツ(動画や3DCG等)を展開することが可能となります。

弊社は今後もARを使ったブランディング、プロモーションのご支援を展開していきます。

### <詳細・お問い合わせ>

食とくらしコミュニケーション事業部門 03-6902-2003 担当：田中